

証券コード：9179

K

"K"LINE KINKAI

株主通信

第52期 2017年4月1日 ▶ 2017年9月30日



GAIA

川崎近海汽船株式會社

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第52期第2四半期の営業概況ならびに事業内容をご理解いただくために、株主通信をお届けいたします。

当第2四半期連結累計期間（2017年4月1日から2017年9月30日まで）におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢に改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続きましたが、海外経済の不確実性による影響から、先行き不透明な状況が継続しました。

海運業界を取り巻く環境は、中国の景気に持ち直しの動きがみられることなどから、外航海運の市況には緩や

かな改善がみられましたが、本格的な改善にはならず、引き続き厳しい経営環境となりました。

こうした情勢下、当社の第2四半期連結累計期間は、近海部門の前年同期比での市況の改善や内航部門の堅固な荷動きなどにより、売上高は200億14百万円となり前年同期に比べて11.2%の増収となりました。営業利益は13億円となり前年同期に比べて90.4%の増益、経常利益は13億23百万円となり126.2%の増益となりました。

また、株式会社オフショア・オペレーションの株式の過半数を取得したことにより、負ののれん発生益4億89百万円を特別利益に計上いたしました。加えて近海部門の船隊規模の適正化の一環として定期用船契約の期限前解約を実施し、特別損失として用船契約解約金6億61百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億95百万円となり前年同期比781.8%の増益となりました。

今後とも株主の皆様におかれましては、引き続き変わりのご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長

石井 繁 礼

代表取締役社長

赤 沼 宏

CONTENTS

株主の皆様へ	1
財務ハイライト	2
部門別営業概況	3
船舶紹介	4
特集：フェリー航路45周年	5
トピックス	7
連結財務諸表	9
会社概要・株式の状況	10
株主メモ	裏表紙

財務ハイライト

当第2四半期の業績結果

連結業績

売上高	200億14百万円 (前期比+ 11.2%)
営業利益	13億00百万円 (前期比+ 90.4%)
経常利益	13億23百万円 (前期比+126.2%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8億95百万円 (前期比+781.8%)

連結財務状況

総資産	435億62百万円
純資産	253億18百万円

連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フロー	31億71百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2億60百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8億19百万円

中間 (第2四半期末) 配当金

1株当たり5円

通期の業績予想

連結業績

売上高	405.0億円
営業利益	22.0億円
経常利益	22.0億円
親会社株主に帰属する当期純利益 (下期の想定円ドル為替レート 1ドル=110円)	10.0億円

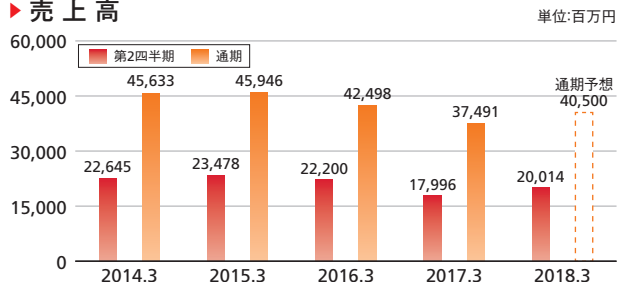
年間配当金

1株当たり一円(中間(第2四半期末)5円・期末50円)を予定

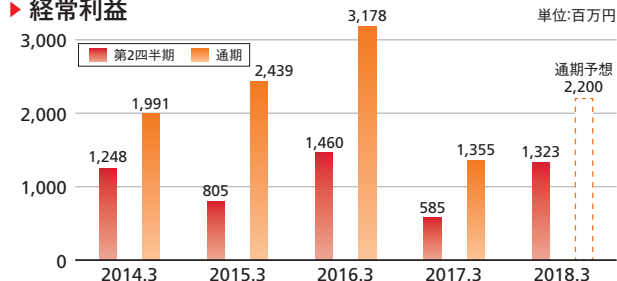


※当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2018年3月期(予定)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮し、年間配当金合計は「一」として記載しております。

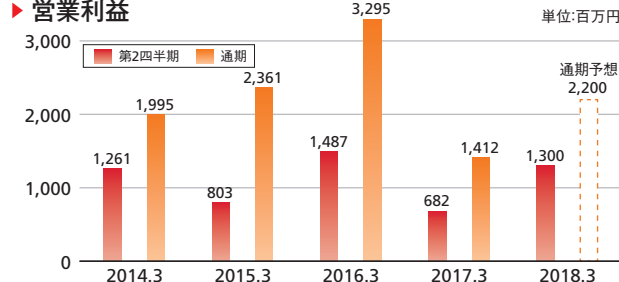
▶ 売上高



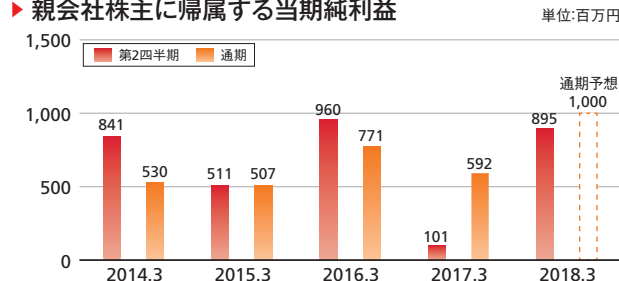
▶ 経常利益



▶ 営業利益



▶ 親会社株主に帰属する当期純利益



部門別営業概況

近海 部門

売上高

56億14百万円

部門別構成比 (%)

28.0%

■ 鋼材・雑貨輸送

鉄鋼メーカーの国内向け鋼材出荷が好調であった反面、輸出鋼材の出荷が減少し、輸送量は前年同期を下回りました。

■ 木材輸送

バイオマス燃料のPKS（ヤシ殻）の輸送量が大幅に増加し、また、輸入合板においては、日本への輸入量が減少するなか、前年同期を上回る輸送量となりました。

■ バルク輸送

セメント輸送や北米積の穀物輸送は前年同期を下回る輸送量となりましたが、日本向け石炭の輸送量は前年同期並みの輸送量となりました。

同部門では、前年同期に比べて市況が改善したことなどから売上高は56億14百万円となり、前年同期に比べて3.8%の増収となりました。営業損失は前年同期9億22百万円から当四半期は5億78百万円に改善いたしました。

内航 部門

売上高

139億00百万円

部門別構成比 (%)

69.5%

■ 不定期船輸送

小型貨物船の市況は低迷したものの、石灰石専用船および石炭専用船では安定した輸送量を確保しました。

■ 定期船輸送

北海道航路では、前年同期に比べ天候に恵まれ、農産物の出荷が概ね順調に推移したことなどから輸送量は前年同期を上回りました。九州航路では、昨年10月の清水一大分航路の開設による船腹量の増加に伴って輸送量は増加しました。

■ フェリー輸送

トラックドライバーの休憩時間の確保の厳格化により、引き続き当社航路の利用が進みトラック輸送量は前年同期に比べて増加しました。また、乗用車の利用は減少したものの、旅客においては前年同期を上回る利用者数となりました。

同部門では、堅調な荷動きが続いたことにより売上高は139億円となり前年同期に比べて10.4%の増収となりました。営業利益は18億24百万円の利益となり前年同期比13.7%の増益となりました。

OSV 部門

売上高

4億97百万円

オフショア支援船事業の充実を図るため、2017年4月に株式会社オフショア・オペレーションの株式の過半数を取得し、同社ならびに同社と均等出資で設立した株式会社オフショア・ジャパンを当期より連結子会社といたしました。メタンハイドレート海洋産出試験支援やCCS（二酸化炭素の回収・海底貯留）の海域調査支援等を実施し、同部門の売上高は4億97百万円となり、営業利益は54百万円となりました。

船舶紹介

近海部門

計26隻

鋼材・雑貨輸送

日本から東南アジア向けに鋼材、機械、プラント部材を輸送しています。

木材輸送

マレーシア、インドネシアから日本向けに合板や製材、マレーシアから日本向けに繊維版用チップを輸送しています。バイオマス燃料として、マレーシア、インドネシアから日本向けにPKS（ヤシ殻）、ベトナムから日本向けにウッドペレットを輸送しています。

バルク輸送

ロシア、中国、インドネシアから日本向けに石炭、北米から日本向けに穀物、フィリピンから日本向けにドロマイト、タイからフィリピン向けに石膏、日本から韓国向けにスラグ、日本からシンガポール向けにセメントを輸送しています。



HELIOS



LAUREL ACE

内航部門

10隻

不定期船輸送

鉄鋼副原料やセメント原料となる石灰石、電力（火力発電）用石炭のほか、石膏、国産材、木材チップなど多様な物資を日本各地に輸送しています。



美津川丸

9隻

定期船輸送

貨物を積載したトレーラーやトラック、建設機械等の無人航送を行う「RORO船」定期航路を関東一北海道間、関東・中部一九州間で運航、様々な品物を輸送しています。来春3月より清水一大分航路の毎日運航開始予定。



北王丸

4隻

フェリー輸送

八戸と苫小牧の間を1日4往復運航し、本州と北海道を最短ルートで結ぶ重要基幹航路として、宅配貨物や生鮮食料品など人々の暮らしに必要な物資を輸送しています。



シルバープリンセス

OSV部門

5隻

オフショア支援船事業

国内最高性能を誇るオフショア支援船「あかつき」を初め合計5隻のオフショア支援船が海洋資源調査／探査支援、海洋構造物の曳航／設置等での海洋開発および海難救助等で活躍しています。



あかつき

特集：フェリー航路45周年

「シルバーフェリー」は2018年4月25日をもちまして、航路開設45周年を迎えます。これも偏に株主の皆様をはじめとする関係各位のご支援の賜物と、心より御礼申しあげます。これを機会に「シルバーフェリー」の歴史をご紹介します。これからも航路の充実、安全・安心な航海に努めてまいり所存ですので、引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

苫小牧
TOMAKOMAI

八戸
HACHINOHE



初代シルバーフェーン (3,765トン)



シルバーフェーン操舵室にて

1973(昭和48)年4月25日

「シルバーフェーン」が八戸ー苫小牧航路に就航

1971(昭和46)年11月2日

川崎汽船株式会社(出資比率:52.5%)、榎崎産業株式会社(現・ナラサキ産業株式会社)(出資比率:22.5%)、八戸港湾運送ほかの出資により資本金2億円でシルバーフェリー株式会社を設立
一般旅客定期航路事業を行うフェリー事業者として八戸ー苫小牧航路開設免許が交付される

1998(平成10)年3月

三代目「シルバーフェーン」就航
航海時間を2時間短縮、7時間となる
「シルバーフェーン」が初代以来通算10,000航海達成

1992(平成4)年4月

当社がシルバーフェリー株式会社を吸収合併

1989(平成1)年7月

二代目「フェリーはちのへ」就航
初代「フェリーはちのへ」退役

1982(昭和57)年9月

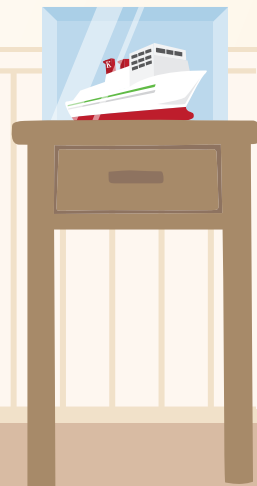
「シルバーフェーン2」就航
初代「シルバーフェーン」退役

1979(昭和54)年11月3日

「フェリーはちのへ」が就航
(東日本フェリー株式会社との共有船)



初代フェリーはちのへ進水式





東日本大震災時の
青森臨時ターミナル

2012(平成24)年
4月8日

「シルバープリンセス」
就航

4月26日

二代目「フェリーはちのへ」
退役

2011(平成23)年
3月11日

「東日本大震災」によって
八戸港が被災したため、八
戸一苫小牧航路を休止

3月20日～7月10日

八戸港被災に伴う代替とし
て、苫小牧港一青森臨時便
を運航

2006(平成18)年
12月1日

東日本フェリー株式会社の
八戸一苫小牧航路撤退に
伴い、当社が航路を継承し
1日4便往復を単独運航に

2013(平成25)年
6月30日

「シルバーエイト」就航
「ベガ」退役

2016(平成28)年
3月7日

宮古一室蘭航路新規
開設を正式発表

2018(平成30)年
(予定)

4月25日

八戸一苫小牧航路に新造船
「シルバーティアラ」就航予定

6月22日

宮古一室蘭航路を新規開設、
「シルバークイーン」を改修し
宮古発便より就航予定

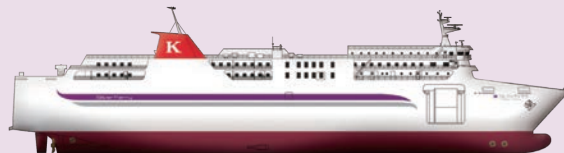


八戸港初入港の「シルバープリンセス」

新造船

シルバーティアラ SILVER TIARA

2018年4月就航を目途に新造フェリーを
「シルバークイーン」の後継船として建造中です。
客室区域に取り入れた新しい趣向、仕様をご案内申し上げます。



客室の
主な特色

- オーシャンビューを満喫できる「ビューシート」を新たに設けました。疲れをゆっくりと癒し、リフレッシュしていただける特別な空間です。
- 大海原を望むフリースペースの「プロムナード」を設けました。船旅の仲間と楽しいひとときを共有できる憩いの場です。
- 大切なペットとの旅行をお楽しみいただけるよう、ペットと一緒に入室できる1等室（定員4名）を設けました。
- 赤ちゃん連れの方にやさしい空間作りとして女性専用の「あかちゃんルーム」を新たに設けました。周囲に気兼ねすることなくお過ごしいただけます。
- 2等寝台は、お一人様でも気軽にご利用できるシングルベッドルーム(個室)とご家族やグループに最適な2段ベッドを備えた洋室の2種類を設けました。

本船のコンセプト

“快適性”と
“プライバシー”を重視、
シンプルで使いやすさを
心掛けました。
船内は宝石のように
凛と輝くティアラを
イメージしています。

Topics
1

当社の推進するモーダルシフトが「省エネ大賞」を受賞しました



本年2月15日、当社は一般財団法人日本気象協会、ネスレ日本株式会社と3社共同で行うモーダルシフトを推進するビジネスモデルが評価され、一般財団法人省エネルギーセンターが主催する「平成28年度省エネ大賞（製品・ビジネスモデル部門 ビジネスモデル分野）」で最優秀賞を受賞いたしました。



なお同賞は、省エネルギーセンターが主催、経済産業省が後援し、1990年から20年以上にわたり、省エネルギー性にすぐれた製品、ビジネスモデル、取り組みを表彰している賞です。

Topics
2

当社の推進するモーダルシフトが「物流環境大賞」を受賞しました

当社は一般財団法人日本気象協会、ネスレ日本株式会社と効率的な海運輸送へ転換するモーダルシフトを推進していますが、このたび、二酸化炭素排出量を削減し、環境負荷軽減に貢献する仕組みを確立したことが評価され、2016年5月12日、一般社団法人日本物流団体連合会が主催する「第17回物流環境大賞」を受賞しました。なお当社では、経済運航への取り組みとして、ネスレ日本とともに日本気象協会の提供する内航船向け最適航海計画支援システム『ECoRO（エコロ）』を利用しております。今後も定時運航を保ちつつ、環境負担の軽減、省エネルギー効果が上がるよう努めてまいります。



Topics

3

当社フェリー「シルバークイーン」が 「紅綬褒章」を受章しました

当社フェリーである「シルバークイーン」は、2015年7月31日に発生した「さんふらわあ だいせつ火災事故」で乗組員が一丸となり「さんふらわあ だいせつ」の救助活動を行い、同船の乗員乗客39名を救助いたしました。そして、このことにより、本年4月28日、「2017年度春の褒章」において、自己の危険を顧みず人命救助に尽力した者（団体）に授与される「紅綬褒章」を受章いたしました。

今回の受章を励みに、当社では今後も安全運航に努め、社会に貢献してまいります。



Topics

4

新造RORO船「富王丸」が就航しました



新造RORO船「富王丸」は、新型電子制御エンジン採用等で地球環境保護に貢献するべく、時代に求められる最新型省エネ船として内海造船(株)因島工場で建造されました。そして、昨年10月3日常陸那珂港に初入港し、無事就航いたしました。

本船は2013年2月就航の「ほっかいどう丸」、2014年8月就航の「北王丸」に続く最新鋭RORO船シリーズ3隻目となります。「ほっかいどう丸」、「北王丸」同様、ご愛顧いただけますよう、よろしく願いいたします。

表紙の船
The Ship on the Cover

「GAIA」

船舶概要

総トン数	13,059t	積貨重量トン数	19,998t
全長	139.91m	型幅	24.00m
航海速度	13.1ノット		

GAIAは19,998重量トンのシングルデッキバルカーで、新来島どっくグループの新高知重工株式会社で本年5月18日に竣工しました。

現在、本船は石炭等のバルク貨物や鉄鋼製品の輸送に投入しております。

また、今後需要の拡大が予想されるバイオマス発電所向けのPKS(ヤシ殻)や木質ペレット輸送にも対応しており、今後の様々な輸送ニーズに応える船となっております。



連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：千円)

資産の部	当第2四半期末 2017年9月30日現在	前期末 2017年3月31日現在
流動資産	15,236,218	12,804,454
固定資産	28,325,853	26,065,644
有形固定資産	25,523,859	21,764,934
無形固定資産	103,044	112,354
投資その他の資産	2,698,949	4,188,355
資産合計	43,562,072	38,870,099
負債の部	当第2四半期末 2017年9月30日現在	前期末 2017年3月31日現在
流動負債	7,965,687	6,127,831
固定負債	10,277,810	9,335,410
負債合計	18,243,498	15,463,241
純資産の部	当第2四半期末 2017年9月30日現在	前期末 2017年3月31日現在
株主資本	23,772,637	22,984,373
資本金	2,368,650	2,368,650
資本剰余金	1,248,849	1,248,849
利益剰余金	20,183,006	19,394,742
自己株式	△27,867	△27,867
その他の包括利益累計額	488,378	421,221
その他有価証券評価差額金	318,786	259,871
土地再評価差額金	123,543	123,543
為替換算調整勘定	143,776	136,077
退職給付に係る調整累計額	△97,727	△98,270
非支配株主持分	1,057,558	1,261
純資産合計	25,318,574	23,406,857
負債純資産合計	43,562,072	38,870,099

第2四半期連結損益計算書(要約)

(単位：千円)

	当第2四半期 累計期間 自 2017年4月1日 至 2017年9月30日	前第2四半期 累計期間 自 2016年4月1日 至 2016年9月30日
売上高	20,014,337	17,996,599
売上原価	16,730,888	15,356,061
売上総利益	3,283,449	2,640,537
販売費及び一般管理費	1,982,715	1,957,556
営業利益	1,300,734	682,981
営業外収益	88,232	63,713
営業外費用	65,013	161,375
経常利益	1,323,953	585,318
特別利益	489,536	114,678
特別損失	661,456	464,749
税金等調整前四半期純利益	1,152,032	235,248
法人税、住民税及び事業税	393,818	61,564
法人税等調整額	△151,477	72,354
四半期純利益	909,691	101,329
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	13,777	△275
親会社株主に帰属する四半期純利益	895,913	101,604

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：千円)

	当第2四半期 累計期間 自 2017年4月1日 至 2017年9月30日	前第2四半期 累計期間 自 2016年4月1日 至 2016年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,171,582	883,431
投資活動によるキャッシュ・フロー	△260,076	△3,084,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	△819,585	2,024,546
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,549	△66,295
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,101,469	△242,648
現金及び現金同等物の期首残高	5,843,868	5,468,984
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,945,338	5,226,336

記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会社概要 (2017年9月30日現在)

社名 川崎近海汽船株式会社
KAWASAKI KINKAI KISEN KAISHA, LTD.

設立 1966年(昭和41年)5月1日

本社 東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

資本金 23億6,865万円

代表者 代表取締役社長 赤沼 宏

従業員数 497名(グループ会社含む)

主な事業内容 海上運送事業
海運仲立業
港湾運送事業および倉庫業
貨物運送取扱事業
海運代理店業

役員

代表取締役会長	石井 繁礼
代表取締役社長	赤沼 宏
専務取締役	久下 豊
常務取締役	杉本 利文
常務取締役	寅谷 剛
常務取締役	小山 卓三
常務取締役	川崎 誠司
常務取締役	佐野 秀広
取締役	馬場 信行
取締役	川戸 淳
取締役	池田 強
取締役(社外)	陶浪 隆生*
監査役(常勤)	西浦 廣明
監査役(社外)	鈴木 修一*
監査役(社外)	倉富 正敏

(注)* 陶浪隆生・鈴木修一は東京証券取引所の規則に定める独立役員として届け出ております。

株式の状況 (2017年9月30日現在)

発行済株式の総数 29,525,000株 (自己株式166,846株を含む)

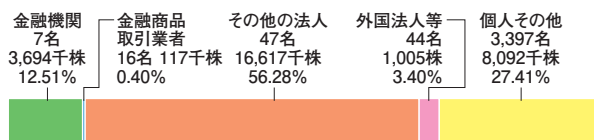
※当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しており、併合後の発行済株式総数は、2,952,500株となります。

株主数 3,511名 (前期末比 5名増)

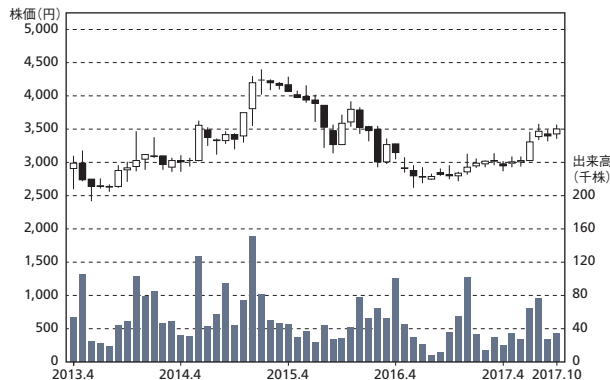
大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	株式数 (千株)	持株比率 (%)
川崎汽船株式会社	14,040	47.55%
東京海上日動火災保険株式会社	1,104	3.74%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	949	3.21%
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	864	2.93%
三井住友海上火災保険株式会社	598	2.03%
川崎近海汽船従業員持株会	412	1.40%
小池 恒三	403	1.36%
北海運輸株式会社	350	1.19%
株式会社栗林商会	304	1.03%
株式会社ダイトコーポレーション	278	0.94%

株式の所有者別状況



株価及び株式売買高の推移 (2017年9月末現在)



※株価および出来高は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

川崎近海汽船株式會社

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号 (〒100-0013)

TEL:03-3592-5800 FAX:03-3592-5911

株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	6月
■同上権利行使株主確定日	3月31日
■期末配当金受領株主確定日	3月31日
■中間(第2四半期末)配当金受領株主確定日	9月30日
■基準日	上記確定日のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
■株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■郵送物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
■公告方法	電子公告により行います。公告掲載URL (http://www.kawakin.co.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
■住所変更、単元未満株式の 買取等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
■未払配当金の支払について	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
■配当金計算書について	配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は大切に保管願います。 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。

当社IRサイトをご活用ください。→ <http://www.kawakin.co.jp/ir/>

当社ホームページでは、プレスリリースや決算情報等を掲載しております。ぜひご活用ください。



古紙配合率70%再生紙を使用しています